

【目的】

- 国土交通省は、河道閉塞による湛水（天然ダム）が発生する等、特に高度な技術を要する土砂災害が発生した場合に市町村が適切に住民の避難指示の判断等を行えるよう「緊急調査」を実施し、市町村及び都道府県に対して被害の想定される区域・時期の情報（土砂災害緊急情報）を提供することとしています。
- 緊急調査を行うような事態が発生した場合は、その被災範囲や影響が大きいことから、国・県・市町村他の関係機関が連携して災害対応を行う必要があるため、平常時より実施する訓練等を通じて土砂災害対応能力の向上を図る必要があります。

【訓練概要】

1. 日 時：令和5年6月19日（月）12:00～16:00
2. 場 所：「にしみね」場外離発着場（高知県長岡郡大豊町西峯）
3. 参加者：四国地方整備局河川部（4名）、四国山地砂防事務所（3名）、四国技術事務所（3名）、高知県（4名）、徳島県（2名）
4. 内 容：
  - ①ヘリコプターによる投下型水位計の運搬訓練  
四国技術事務所から「大豊町にしみねヘリポート」まで投下型水位計を車で運搬した後、投下型水位計の吊り込み作業を行い、河道閉塞の発生を想定した境川の観測（投下）地点までヘリコプターで運搬する訓練を実施。
  - ②ヘリコプターからの天然ダムの計測訓練  
天然ダムの位置や形状を確認するため、ヘリコプターからレーザ距離計や撮影した写真を基に3Dデータ（SfMモデル）を作成し、湛水想定地点を計測する訓練を実施。

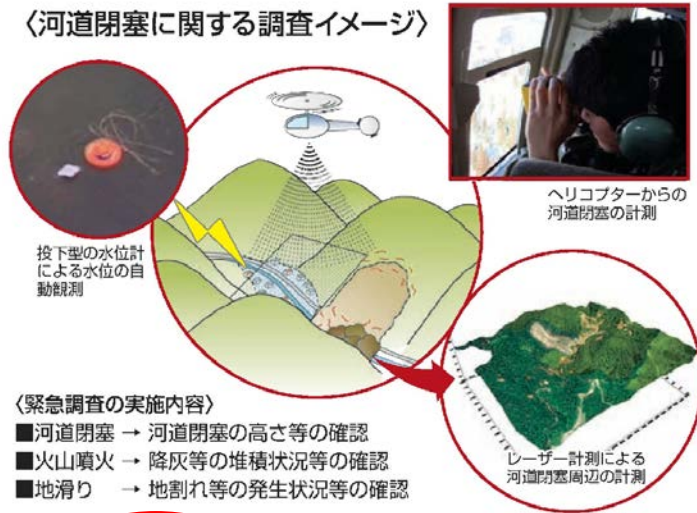


写真-1 投下型水位計吊り込みの様子

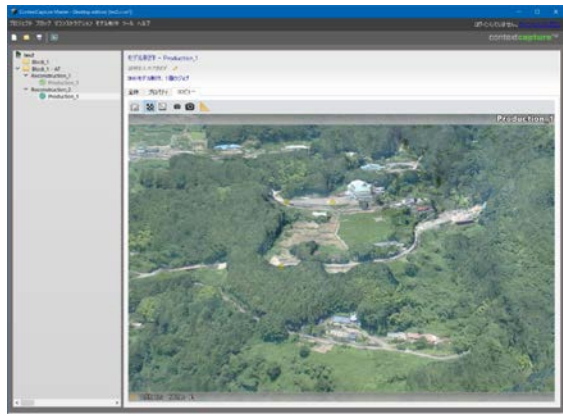


写真-2 写真を基にSfMモデルを作成



図-1 にしみね場外離発着場から境川までの飛行ルート  
出典：地理院地図webサイト